

プラウド清澄白河 リバーサイド

PROUDO KIYOSUMISHIRAKAWA RIVERSIDE

No. 09-005-2018作成

新築
集合住宅

発注者	野村不動産株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	佐藤工業株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	佐藤工業株式会社東京支店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

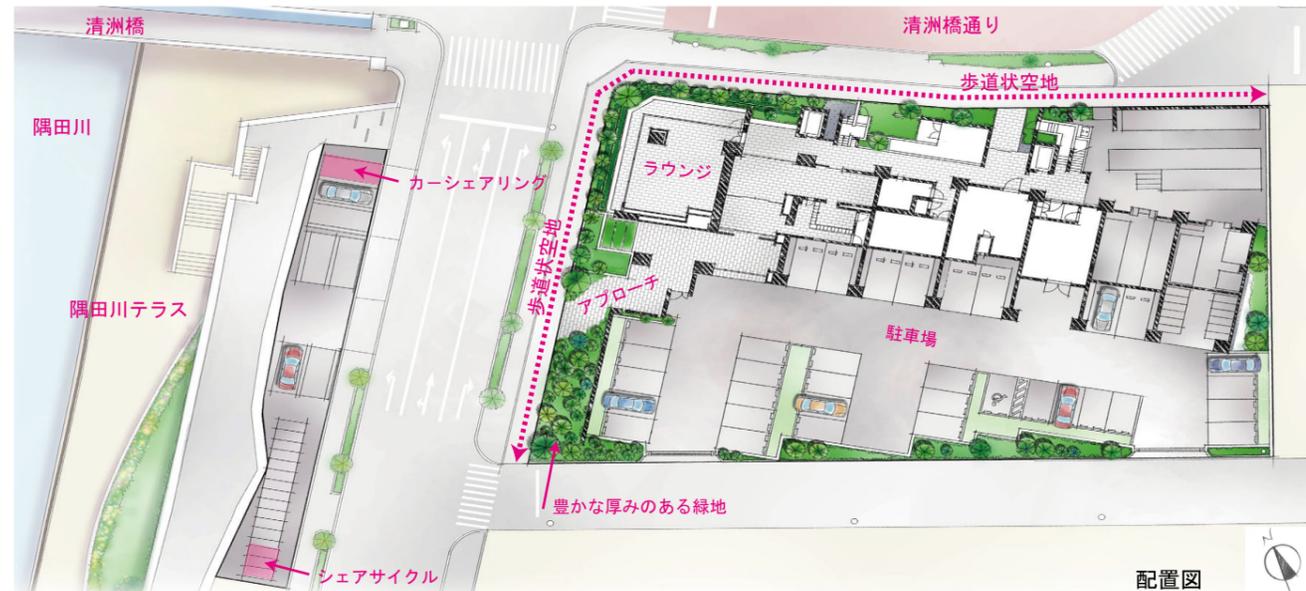
清澄庭園の緑を継承し、隅田川の水景のランドマークとなる集合住宅



西側清洲橋より臨む



南西植栽帯よりの外観



建物データ	所在地 東京都江東区	省エネルギー性能	品確法省エネ対策 等級4	CASBEE評価	Aランク BEE=2.4 2014年度版 自己評価
竣工年	2017年				
敷地面積	2,260㎡				
延床面積	9,742㎡				
構造	RC造				
階数	地上15階				

計画概要

プラウド清澄白河リバーサイドは隅田川河畔の国重要文化財である清洲橋に連なるロケーションにあります。隅田川サイドのファサードを、印象的なコーナーサッシとシャープな垂直マリオンで構成することにより、隅田川水景において清洲橋と呼応するランドマーク的な建物となりました。

近接する清澄庭園・清澄公園の豊かな緑に呼応するように四季を楽しめる樹種と大景木により厚みのある植樹帯を設け、また歩道上空地を設けることで、地域のアメニティを豊かにしています。

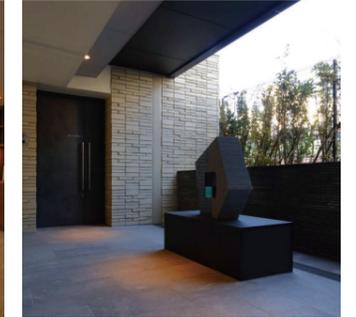
日本橋エリアと向き合い、清澄白河駅まで徒歩7分、水天宮駅まで徒歩9分という利便性、伝統と最新が融合する文化性の高い地での豊かな暮らしを体現する集合住宅に相応しく、木とアースカラーとガラスをモチーフとして格調と新鮮さが共存するデザインとしました。



メインアプローチ



ラウンジ



ラウンジ入口

奥行きのあるアプローチと格調高い共用部

隅田川サイドの歩道状空地より幾重の天然素材と植栽で織り込まれた奥行きあるメインアプローチとしています。エントランス、ラウンジは石垣、モニュメント、木調素材により落ち着きと温かみを感じられる、格調高い空間としています。



歩道上空地隣接植栽帯



隅田川側住戸専有部分



屋上太陽光発電装置

緑化による環境への貢献

大景木、季節を感じる樹種を含む緑地帯を歩道上空地と隣接して設けて地域のアメニティを豊かにしています。また屋上緑化・壁面緑化により地域の温熱環境の改善にも貢献しています。

外皮性能の向上

Low-e ペアガラスの採用、建物の高断熱化により外皮性能を向上し、日本住宅性能表示基準 断熱等性能等級4としています。吹付け硬質ウレタンフォームはA種の採用しオゾン層の保護にも寄与しています。

省エネルギー

太陽光発電システム（自家消費）、潜熱回収型暖房機能付給湯器を採用することで建物の省エネルギー性能を高めると同時に、HEMSにより利用電力の見える化を行うことで効率的エネルギー利用を促進します。

交通負荷削減

居住者が利用できるカーシェアリングとシェアサイクルを設置することで居住者の利便性を図るとともに、地域への交通負荷低減に寄与しています。

設計担当者

統括：弘法堂啓一／建築：見目奈実子／構造：大嶋拓也／電気設備：渡辺英章／機械設備：萩原寿樹
デザイン監修：日建ハウジング 田中俊祐



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q1. 2. 温熱環境 (Low-e ペアガラスを住戸全サッシに採用、ノンフロム硬質ウレタンフォームによる高断熱化)
- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (空調・給排水管の更新必要間隔の確保、品確法劣化等級3)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (デザインによる隅田川水景への貢献、四季を感じることができる緑地帯の質)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (断熱性能等級4、Low-eペアガラスの採用)
- LR1. 2. 自然エネルギーの利用 (太陽光発電設備の採用)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (潜熱回収型暖房機能付給湯器)